

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 7 月 7 日 (2011.7.7)

【公開番号】特開 2009-48998 (P2009-48998A)

【公開日】平成 21 年 3 月 5 日 (2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報 2009-009

【出願番号】特願 2008-138525 (P2008-138525)

【国際特許分類】

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

G 0 2 B 5/10 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 8/00 6 0 1 E

F 2 1 V 8/00 6 0 1 F

G 0 2 F 1/13357

G 0 2 B 5/10 A

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 18 日 (2011.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光を出射する光源部と、

入射面から入射した光を導光して出射面から面発光させる導光板と、

前記光源部から出射された光を前記導光板の入射面上で走査する走査手段と、を備える面発光装置であって、

前記走査手段は、

前記光源部から出射された光を反射して前記導光板の入射面に入射させる螺旋状の反射部材と、

前記反射部材をその螺旋の中心軸周りに回転させて、前記反射部材で反射された光を前記導光板の入射面上で走査する回転制御部と、を備える

面発光装置。

【請求項 2】

前記反射部材で反射された光を屈折して、前記導光板の入射面に垂直に入射させる屈折部材を、さらに備える、

請求項 1 記載の面発光装置。

【請求項 3】

前記走査手段は、前記光源部から出射された光を走査する副走査機構、を有し、

前記副走査機構は、前記光源部から出射された光を反射して反射部材に入射させるように形成された、

請求項 1 記載の面発光装置。

【請求項 4】

光を出射する光源部と、

入射面から入射した光を導光して出射面から面発光させる導光板と、  
前記光源部から出射された光を前記導光板の入射面上で走査する走査手段と、  
前記導光板の出射面側に配置された表示パネルと、を備える画像表示装置であって、  
前記走査手段は、  
前記光源部から出射された光を反射して前記導光板の入射面に入射させる螺旋状の反射  
部材と、  
前記反射部材をその螺旋の中心軸周りに回転させて、前記反射部材で反射された光を前  
記導光板の入射面上で走査する回転制御部と、を備える、  
画像表示装置。